

ボランティアでつながる地域の輪



頼み事がしにくい時代

募金や清掃活動、読み聞かせなど、さまざまなボランティア活動が各地で行われており、学校や企業などの団体が取り組む様子も見られます。しかし、個人の状況を考えると、大人になるにつれボランティアに参加する機会が減っている人は多いのではないのでしょうか。

また、核家族化や情報化などにより、地域のひととの関わりが薄くなり、個人が主体的に活動しにくい状況もあります。そのため、ボランティアを行う人の固定化や高齢化が進んでいます。これらの現状は同時に、自分に何かあったとき、周りの人に頼りにくい現状を生み出しています。

日常の困り事を解決

「腰が痛くて動くことが辛く、家事ができない」「電球を取り替えたいが届かない」「仕事で忙しく子どもの送迎が間に合わない」など、ちょっとしたことでだけでも、お願ひできる人がおらず困っていることはありませんか。

町には、このような困り事を解決する「キャロットサービス(生活上の困り事)」「ファミリー・サポート(子育ての困り事)」の2つのボラン

ティア活動があります。これらは、援助したい人(協力会員)と援助してほしい人(依頼会員)を社会福祉協議会ボランティアセンターがつなぎ、家事の手伝いや子どもの送迎などを住民同士でサポートし合う事業です。この2つは、いわゆる「有償ボランティア」として行われています。

有償ボランティアが地域をつなぐ

ボランティアとは本来無償で行う自発的な活動ですが、有償ボランティアは、その活動にかかる交通費や燃料費などの必要経費や、ちょっとしたお礼を含めた低額な費用を支払うことで行われる活動です。

ファミリー・サポートの場合、利用料の一部を町が負担しているため、より低額な料金でサービスを利用することができま

す。有償ボランティアのメリットは依頼会員と協力会員の双方にあり、依頼会員は、一時的な援助を受けられるだけでなく、協力会員から今後活かせるアドバイスを得られることもあります。

協力会員は、自分のスキルや空いている時間を活用することができます。また、社会貢献になるため、やりがいや生きがいにもつながります。さらに、この2つの活動をき

けに、世代を超えたさまざまな縁が生まれ、地域で支え合う力を育てることにつながります。ちょっとした

この助け合い・支え合いが地域をつなぎ、安心して暮らせる町をつくるのです。

ある日、町内のある場所で、元気に遊ぶ子どもを見守る人がいました。またある日は、高齢者宅で家事を手伝う人の姿がありました。よくある日常の「こまかもしれませんが、実はどちらも「はじめまして」の関係でした。ではなぜ、こうして見守りや手伝いをしているのでしょうか。そこには、「有償ボランティア」でつながった地域の輪がありました。高齢世帯や共働きの世帯が増え、「ちょっとした手助け」を必要としている人がいます。核家族化や情報化が進み、人と人との関係が希薄化している今、ボランティアを通して、地域のつながり、支え合いについて考えてみませんか。

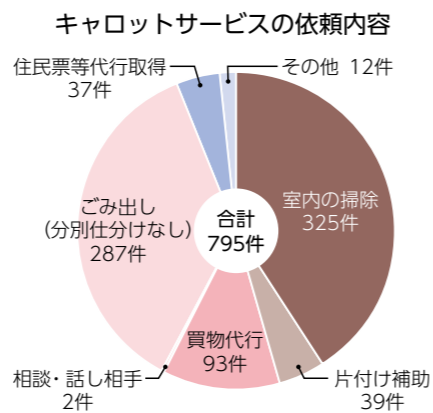
Pick up Interview

社会福祉協議会 是の 政信さん



核家族化や地域コミュニティの希薄化により、ちょっとした生活の困り事を気軽にお願ひできる人がおらず困っているという声があったことが、2つの事業を始めたまっかけです。ボランティアは、依頼側にはお願ひすることの心苦しさが、提供側には継続の難しさや善意でお礼をしてくれる人への申し訳なさがありました。そのため、気持ちばかりのお礼として「活動費(料金)」を支払うことで、お互いに気兼ねなく利用することができるようになりました。

現在依頼は増えており、ニーズも多様化しています。一方で、協力会員の減少により、すべてのニーズに対応することが難しくなっています。現在、キャロットサービスは39人の協力会員で、年間約800件の援助を担っています。この活動を知ってもらうことで、多くの人がボランティアへ目を向けるきっかけになることを期待しています。





掃除の援助を行う井澤恭代さんと笑顔で見守る村上ミヨ子さん



お茶を飲みながら話をする2人

手助けをしたい一心で活動している
 「顔を見て話ができることがとても楽しい」
 朗らかな笑顔を浮かべるのは、キャロットサービスの協力会員として

提供する立場 × 依頼する立場

つながる地域の輪

キャロットサービスとファミリー・サポートを通してつながった2組に、活動の内容や関係性について聞きま

した。
 「困っていることがあるけど誰にもお願いできない人に、こういった活動があつて近くにつながれる人がいることを知ってほしい」と、活動や地域への思いを語ります。

「不安なくお願いすることができた」
 月に数回、ファミリー・サポートを利用して国分奈央美さん(光7町内)。以前、緊急時に一度利用し、習い事に通うために再度利用を始めました。

「不安なくお願いすることができた」
 月に数回、ファミリー・サポートを利用して国分奈央美さん(光7町内)。以前、緊急時に一度利用し、習い事に通うために再度利用を始めました。



息子の晴人さんも小崎さんに向けてっこり



楽しそうにつみき遊びをしている国分晴人さんと小崎佳代さん。お母さんの奈央美さんも安心して晴人さんをお預けできるといいます

「家のなかを歩き回って掃除をするのが大変。井澤さんには、ずっと良くしてもらっている」と家事の苦労を話します。

「掃除してもらった後に、甘いものとお茶を手に話をすることが何よりの楽しみ」と、いつも井澤さんが来る日を楽しみにしているといいます。また、同じ地区で暮らす2人をつれたり立ち話をしたりして、ご近所付き合いも楽しんでいます。

「井澤さんとは何でも腹を割って話すことができ、ボランティアを超えた妹のようであり娘のような存在です」

協力会員募集中！

社会福祉協議会 ボランティアセンター
 ☎(232)4824

社会福祉協議会ボランティアセンターでは、キャロットサービスとファミリー・サポートの協力会員を募集しています。依頼はさまざまニーズが多様化しているため、世代や性別を問わず多くの人の協力が必要です。2つのサービスの合言葉「できることをできるしこ」ちょっとした時間でできる範囲で活動してみませんか。当センターでは養成講座をはじめとした協力会員へのサポートも行っていますので、心配ありません。ぜひ皆さんの力を貸してください。

登録お待ちしております



サービス概要

キャロットサービス

- ◆ 時間 午前9時～午後5時
- ◆ 利用料金 1時間800円 ※利用日や内容により別途料金が発生
- ◆ 対象者 町内在住で日常生活において手助けが必要な人

ファミリー・サポート

- ◆ 時間 午前8時～午後7時
- ◆ 利用料金 1時間500円 ※利用日や内容により別途料金が発生
- ◆ 対象者 町内在住でおおむね生後3カ月～小学6年生までの子どもがいる人

